

## 株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 剰余金の配当基準日 期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払(※)、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買はできません。

※未払配当金のみ、みずほ銀行本店および全国各支店でもお取扱いいたします。

- 公告方法 電子公告 (<http://www.musashinet.co.jp/koukoku/>)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

### ●上場株式配当等の支払に関する通知書について

お支払する配当金については、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成27年の確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成27年の確定申告の添付書類としてご使用になる支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第94期中間報告書をお届けするに際しまして、この間の営業の概況についてご報告いたします。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資が持ち直し、雇用・所得環境も改善するなど総じて回復基調が続くものの、消費増税に伴う反動減からの消費回復が鈍いほか、円安による輸入品価格の高止まりが懸念されるなど、先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高165億84百万円、営業利益2億10百万円、経常利益3億64百万円、四半期純利益2億47百万円となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

**情報・印刷・産業システム機材**

情報・産業システム機材は、非破壊検査機材の販売が順調だったほか、文書のデジタル化事業において民間企業の需要を取り込み受注が伸長するなど概ね順調に推移いたしました。

印刷システム機材は、印刷需要の低迷に加え消費増税に伴う反動減などの影響を受け、印刷機器・材料の販売とも低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は112億49百万円、営業利益は2億2百万円となりました。

**金融汎用・選挙システム機材**

金融汎用システム機材は、一部の貨幣処理システムの販売は伸長したものの、金融機関向け紙幣整理機の販売

が低調に推移いたしました。

選挙システム機材は、地方選挙向け各種機材の販売が好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は19億62百万円、営業損失は44百万円となりました。

**紙・紙加工品**

紙・紙加工品は、主力の印刷用紙や感熱記録紙などの情報用紙は消費増税後の反動減の影響を受けましたが、紙器用板紙の販売が伸長したため、概ね順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は32億79百万円、営業損失は9百万円となりました。

**不動産賃貸・リース事業等**

不動産賃貸業、リース事業等の売上高は2億33百万円、営業利益は58百万円となりました。

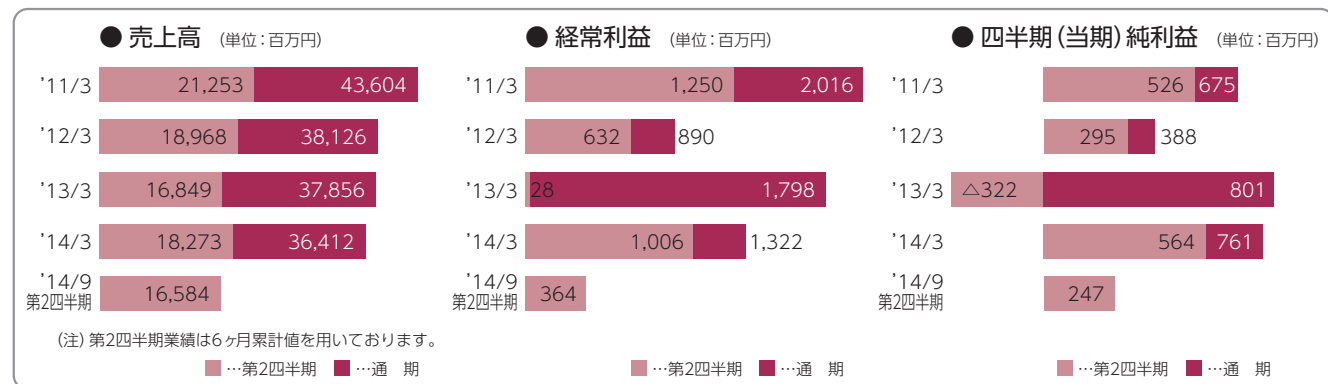
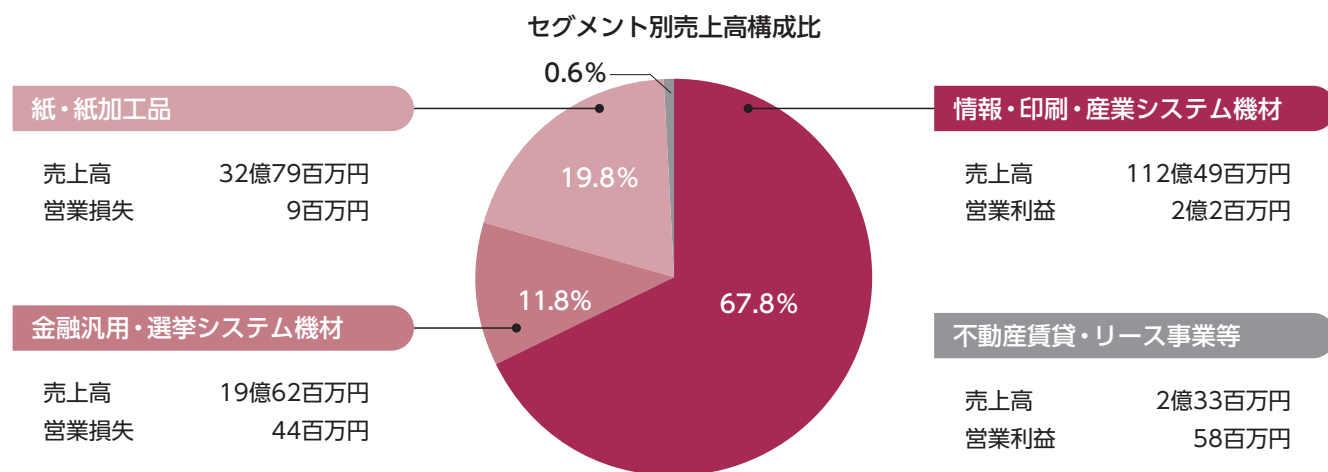
株主の皆様には、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

代表取締役社長 羽鳥雅孝



連結 経営成績	売上高	165億84百万円
	営業利益	2億10百万円
	経常利益	3億64百万円
	四半期純利益	2億47百万円

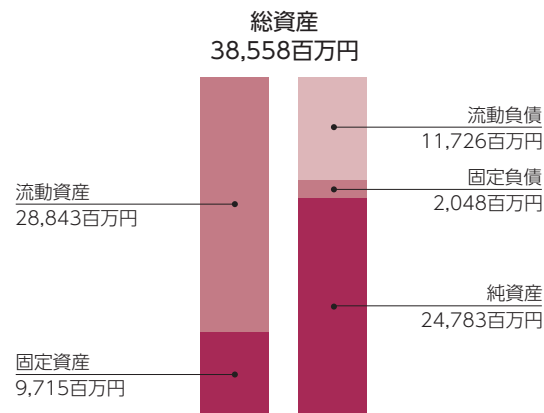


### 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨て)

科目	当第2四半期末 2014年9月30日現在	前期末 2014年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
<b>1 流動資産</b>	<b>28,843</b>	<b>29,335</b>
<b>2 固定資産</b>	<b>9,715</b>	<b>9,972</b>
有形固定資産	3,082	3,442
無形固定資産	219	113
投資その他の資産	6,413	6,416
<b>資産合計</b>	<b>38,558</b>	<b>39,308</b>
<b>(負債の部)</b>		
<b>3 流動負債</b>	<b>11,726</b>	<b>12,972</b>
<b>4 固定負債</b>	<b>2,048</b>	<b>1,912</b>
<b>負債合計</b>	<b>13,774</b>	<b>14,884</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	24,501	24,189
その他の包括利益累計額	282	234
<b>5 純資産合計</b>	<b>24,783</b>	<b>24,423</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>38,558</b>	<b>39,308</b>

### 四半期末総資産



### 貸借対照表のポイント

#### (資産)

#### 1 流動資産

流動資産における減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少(3億2百万円)及び流動資産の「その他」の減少(2億50百万円)、増加の主な要因は、現金及び預金の増加(82百万円)であります。

#### 2 固定資産

固定資産における減少の主な要因は、売却に伴う土地の減少(3億61百万円)、増加の主な要因は、ソフトウェアの増加(1億5百万円)であります。

#### (負債)

#### 3 流動負債

流動負債における減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少(8億円)、流動負債の「その他」の減少(2億44百万円)及び未払法人税等の減少(1億68百万円)であります。

#### 4 固定負債

固定負債における増加の主な要因は、固定負債の「その他」の増加(90百万円)及び役員退職慰労引当金の増加(42百万円)であります。

#### (純資産)

#### 5 純資産

純資産における増加の要因は、四半期純利益2億47百万円、会計方針の変更に伴う累積的影響額1億38百万円及びその他の包括利益の増加(48百万円)、減少の要因は、剰余金の配当74百万円であります。

### 四半期連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科目	当第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで
<b>売上高</b>	<b>16,584</b>	<b>18,273</b>
売上原価	13,238	14,129
売上総利益	3,346	4,144
販売費及び一般管理費	3,136	3,172
<b>営業利益</b>	<b>210</b>	<b>972</b>
営業外収益	174	83
営業外費用	20	49
<b>経常利益</b>	<b>364</b>	<b>1,006</b>
特別利益	122	-
特別損失	-	12
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>487</b>	<b>993</b>
法人税、住民税及び事業税	28	312
法人税等調整額	211	117
少数株主損益調整前四半期純利益	247	564
<b>四半期純利益</b>	<b>247</b>	<b>564</b>

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科目	当第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで
<b>6 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△403</b>	<b>734</b>
<b>7 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>761</b>	<b>△681</b>
<b>8 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△75</b>	<b>△741</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	282	△686
現金及び現金同等物の期首残高	15,149	16,245
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,431	15,559

ホームページでさらに詳しい情報をご覧ください。

<http://www.musashinet.co.jp/>

当社ホームページ「IR情報」では、決算説明会資料などのIR関連情報をタイムリーに載せております。



▲IR情報 トップページ

業績ハイライトや、過年度の決算短信、年次報告書など様々なIR情報をご覧ください。最新の株価などもご確認いただけます。

▲決算説明会資料

### キャッシュ・フロー計算書のポイント

#### 6 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益4億87百万円、売上債権の減少3億2百万円等の収入要因がありましたが、仕入債務の減少8億92百万円、未払金の減少2億80百万円等の支出要因により相殺されたことによるものであります。

#### 7 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の預入・払戻による収入(純額)4億円、有形固定資産の取得・売却等による収入(純額)3億51百万円等によるものであります。

#### 8 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払75百万円の支出によるものであります。

## 拡大するメディアコンバート需要

官公庁や自治体の「行政文書」や、民間企業での様々な「文書や書籍、図面」等の電子化による情報活用のほか、災害への対策として「重要文書」の電子データ化・マイクロフィルム化需要が高まっています。当社は50年以上にわたる豊富な経験と実践的なノウハウを強みとして、日本最大のイメージングセンターをフル活用し、メディアコンバート事業のさらなる拡大に取り組んでいます。

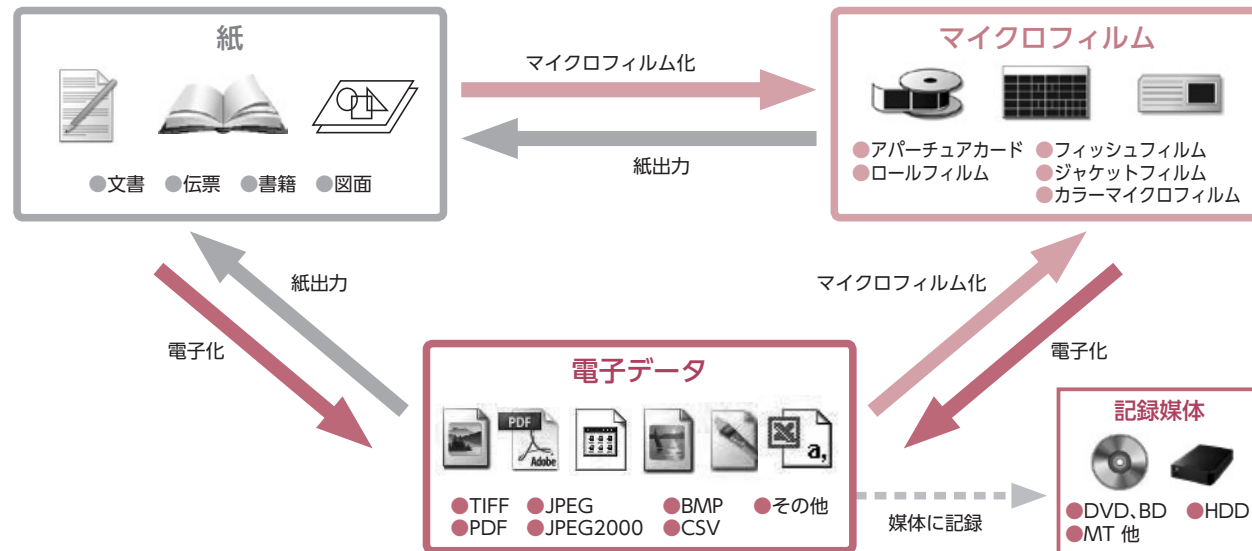


広大なイメージングセンター



書籍のスキャンニング

## メディアコンバートサービスの概要



## 会社概要 (2014年9月30日現在)

### CORPORATE DATA

商号	株式会社ムサシ
設立	1946年12月
本社	東京都中央区銀座八丁目20番36号
資本金	1,208,500,000円
従業員数	連結557名/単体254名
主要取引銀行	株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行
関係会社	ムサシ・フィールド・サポート(株) 武蔵エンジニアリング(株) (株)ムサシ・イービーシー ムサシ・イメージ情報(株) ムサシ・アイ・テクノ(株) エフ・ビー・エム(株) 武蔵興産(株) (株)武蔵エンタープライズ (株)ジェイ・アイ・エム

役員	取締役名誉会長	都木 恒夫
	代表取締役会長	小林 厚一
	代表取締役社長	羽鳥 雅孝
	常務取締役	青坂 修司
	常務取締役	佐々木 淳
	取締役	村田 進
	取締役	山村 隆
	取締役	吉川 伸一
	取締役	浅川 正仁
	取締役	新妻 一俊
	常勤監査役	中川 裕務
	常勤監査役	桑原 弘順
	社外監査役	安藤 信彦
	社外監査役	浅野 修一

## 株式の状況 (2014年9月30日現在)

### STOCK INFORMATION

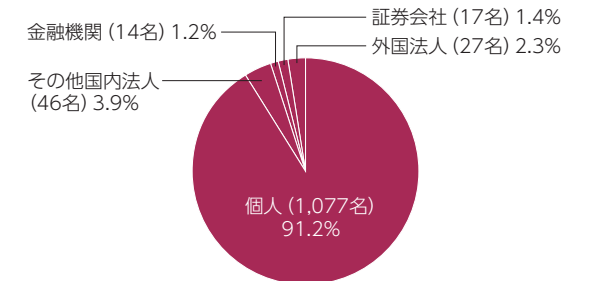
- 発行可能株式総数…………… 28,920,000株
- 発行済株式の総数…………… 7,950,000株
- 株主数…………… 1,181名

#### ●大株主

株主名	持株数	持株比率
上毛実業株式会社	1,388 千株	18.7 %
ショウリン商事株式会社	897	12.1
ムサシ社員持株会	520	7.0
株式会社みずほ銀行	360	4.8
ムサシ互助会	299	4.0
小林厚一	237	3.2
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	200	2.7
株式会社三井住友銀行	190	2.6
日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口	145	2.0
羽鳥雅孝	137	1.8

(注)持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
当社は自己株式506千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

#### ●株式の所有者別状況 (株主数)



#### ●株式の所有株数別状況 (株主数)

